

令和6年度埋設農薬の探査に関する事業の結果概要

【岐阜県下呂市】

令和7年3月25日

1 事業の概要

岐阜県下呂市の国有林野に埋設・管理している2,4,5-T系除草剤(乳剤2リットル)に関して、令和5年度に引き続き、埋設箇所を確認するための地中レーダー探査調査等を実施した。

令和5年度は、昭和46年の埋設後、昭和60年に設置した注意喚起のための標識を中心に半径約50mの区域(造林地部分等を除く)を対象に、地中レーダー探査調査、探査棒による確認調査、土壌汚染対策法に準じた土壌試料採取調査・土壌試料分析を行ったが、埋設農薬と思われる物体の確認には至らなかった。

令和6年度は令和5年度調査で埋設物の可能性を払しょくできなかった区域を調査対象区域(約940㎡)とし、地中レーダー探査調査、探査棒による確認調査、ダブルスコップで掘削した土壌の目視等による調査、土壌汚染対策法に準じた土壌試料採取調査・土壌試料分析等を行った。

また、これまでの調査及び分析結果について、学識経験者から意見聴取を行い、当該埋設箇所の今後の管理方針をとりまとめた。

2 調査状況、調査及び分析結果

調査箇所 調査項目	岐阜県下呂市 (地中レーダー探査等による調査、土壌試料採取調査)
調査状況写真	＜令和6年度調査対象区域の刈払い作業後の様子＞  ＜地中レーダー探査＞ ＜ダブルスコップによる調査＞ ＜土壌試料採取調査＞  ＜学識経験者からの意見聴取＞ 

埋設物の有無、状態	確認に至らず。(既存の手法の追加調査による)
対象地の土壌状態	探査棒による確認調査、土壌試料採取調査等において異常はなく、調査地での環境影響はないことが確認された。
地中レーダー探査等による調査結果	38 地点・範囲で地中の異物や地層の乱れの可能性がある反応を確認し、計 78 箇所において、探査棒による確認調査及びダブルスコップで掘削した土壌の目視等による調査を行った。その結果、 <u>異常な臭気は確認されず、埋設農薬と思われる物体の確認には至らなかった。</u>
土壌汚染対策法に準じた土壌試料採取調査・土壌試料分析結果	調査対象区域を 2 つの 30m×30m の格子に区分するなどした上で、上記の異物や乱れ等が確認された箇所のうち 10 箇所と令和 5 年度調査対象区域内の試料未採取の 10 箇所で試料を採取。計 20 箇所で採取した試料を等量混合して 1 検体とし、計 5 検体について 2, 4, 5-T 及びダイオキシン類の含有量の測定分析を実施した。 その結果、 <u>2, 4, 5-T は不検出。ダイオキシン類の濃度は 0 ～0.075pg-TEQ/g であり環境基準値 (1000pg-TEQ/g) を大きく下回った。</u>
学識経験者からの意見聴取	<u>調査対象区域で、2, 4, 5-T の検出等はなく、安全が確認されたが、現在実施している現地状況確認モニタリングの継続、5 年間の水質調査の実施、埋設農薬に関する記録の引継ぎが必要である等の意見があった。</u>

3 今後の管理方針について

今年度の調査結果、学識経験者からの意見等を踏まえ、今後 5 年間、渇水期・出水期・通常期の水質調査の結果を確認した上で、定期点検及び豪雨等の後の臨時点検を継続するとともに、土地改変防止のための立入制限措置等を実施することが明記。